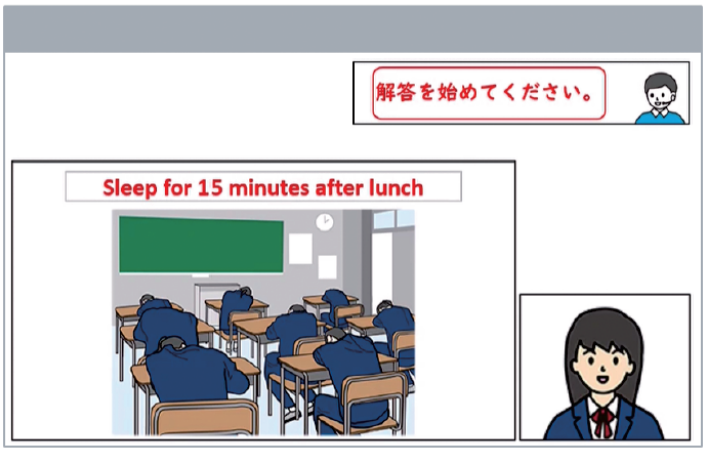
英語19　話を聞いて、考えとその理由を話す

＜問題文＞

あなたは、英語の授業で、オンライン交流をしている中学生のかおりと「学校生活をよりよくする方法」について話し合っています。発表を聞き、かおりの意見に対する「**あなたの考え**」と「**なぜそう考えるのか**」を、英語で答えましょう。【考える時間１分　解答時間 30 秒】



英語の音声スクリプト

At school, I often become sleepy in the afternoon. I think we should sleep for 15 minutes after lunch because we will feel better and can study harder later. Some classmates agree with my idea, but other classmates don't agree because they want to talk with their friends more. My idea is we should sleep for 15 minutes after lunch. Do you think my idea is good? And why?

１．出題の趣旨

社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる。

「社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由などを話す」とは、社会的な話題に関して聞いて分かった情報を活用し、聞き手に話して伝えることである。その際、既習の表現などを駆使しながら、自分自身の考えや気持ちを理由などとともに話して伝えることが重要である。

英語19では、社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかを把握するために、学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す問題とした。

■学習指導要領における目標

話すこと［発表］

ウ　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

話すこと［発表］

(ｳ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。

1．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率(%)	正答
19			(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 条件①　話し手の意見に対する自分の考えを話している。 条件②　条件①の理由を話している。		
		1	条件①、条件②を満たして解答しているもの	17.5	◎
		2	文法事項など※に誤りがあるが、条件①、条件②を満たして解答しているもの	8.4	○
		3	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	23.6	
		4	条件①を満たし、条件②に関する発話がないもの	3.6	
		5	条件①を満たしていないが、条件②を満たして解答しているもの	4.7	
		6	条件①に関する発話はないが、条件②を満たして解答しているもの	0.7	
		7	条件①、条件②を満たさないで解答しているもの	22.0	
		99	上記以外の解答　(日本語など)	2.5	
		0	無解答	17.0	

※「文法事項など」とは、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを指す

(N= 46,096 人)

■解答類型について

○　正答率は 25.8%である。学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す本問では、社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことに課題がある。他の解答類型と比較すると、誤答の中では解答類型３の反応率が 23.6%、解答類型７の反応率が 22.0%、無解答の反応率が 17.0%と高い。

○　令和５年度【中学校】話すこと英語 2 では、社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみるために、環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を伝える問題を出題し、正答率は 4.2%であった。今回の結果から、社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことに引き続き課題があると考えられる。

○　解答類型１の例

- It's a good idea because many students will study harder if they sleep after lunch.
- Your ides is good because I often become sleepy after lunch.
- I don't think your idea is good because talking with friends is more important than sleeping for 15 minutes after lunch.
- No, I don't. Students should play outside after lunch.

解答類型１に該当する生徒は、かおりの意見に対する自分の考え（条件①）とその理由（条件②）を話すことができている。このことから、社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができていると考えられる。

○　解答類型２の例

・I think your opinion is very nice because I am often sleep after lunch.（形容詞の誤り）
・Yes, I do because my classmates are looking sleepy.（動詞の活用の誤り）
・I don't agree _ your idea because I classmates are not sleepy.
（前置詞の誤り）（所有格の誤り）

解答類型２に該当する生徒は、英語の表現に関して、所有格の誤り、be 動詞の誤り、形容詞の誤り、前置詞の誤り、動詞の活用の誤りなど一部不正確な表現は見られるが、聞き手に伝わる表現でかおりの意見に対する自分の考え（条件①）とその理由（条件②）を話すことができている。

※解答類型３以降は、語順の誤り、主語の誤り、一般動詞の欠落、内容の矛盾などがあるため、「条件①」または「条件②」あるいはそのどちらも満たしていないとしている。

○　解答類型３の例

・I think that's good because I think it's important.
・Kaori’s idea is very good because student should not sleep in the school.（内容の矛盾）
・I agree with your idea. We should sleep for 15 minutes after lunch.（主張の繰り返し）

解答類型３に該当する生徒は、かおりの意見に対する自分の考え（条件①）を話すことはできているが、その理由（条件②）を話すことはできていない。

○　解答類型４の例

・Yes, I think so too.　・It’s a good idea.　・No, I don’t.

解答類型４に該当する生徒は、かおりの意見に対する自分の考え（条件①）を話すことはできているが、その理由（条件②）に関する発話がない。理由として話す内容が思い浮かばなかった、あるいは話す内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかったと考えられる。

○　解答類型５の例

・She is idea. She have idea is very nice because I hope sleep for 15 minutes after lunch.
・She has idea is not good. I think that sleeping is good.

解答類型５に該当する生徒は、かおりの意見に対する自分の考え（条件①）は話すことはできていないが、その理由（条件②）を話すことはできている。話し手の質問を聞き、それに対する自分の立場を明確に表現することに課題があると考えられる。

○　解答類型６の例

・Many students will study hard.
・It is healthy for students to sleep for 15 minutes after lunch.

解答類型６に該当する生徒は、かおりの意見に対する自分の考え（条件①）に関する発話はないが、その理由（条件②）を話すことはできている。話し手の質問を聞き、それに対する自分の立場を明確に表現することに課題があると考えられる。

○　解答類型７の例

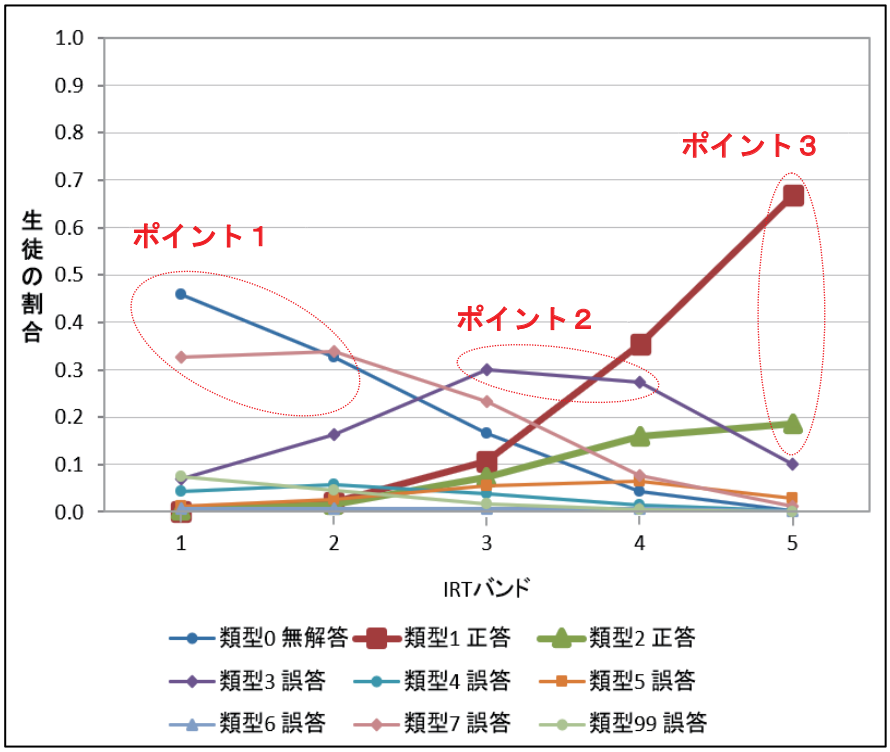
・I think Kaori to good because after lunch is to friend to talk and study time ad play time.
・I think sleep for 15 minutes after lunch because we are like after lunch.
・You think is good because I think sleep for 15 minutes after lunch.
・She is I like because I often after lunch.
・I think that you don’t good idea because school is to study.

解答類型７に該当する生徒は、かおりの意見に対する自分の考え（条件①）とその理由（条件②）を話すことができていない。音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して話すことに課題があると考えられる。

○　解答類型０（無解答）の生徒

英語19では、17.0％の生徒が無解答であった。無解答であった要因としては、①かおりの話している内容を理解することができず、何を答えたらよいか理解することができなかった。②かおりの話している内容は理解することができたが、話す内容が思い浮かばなかった。③話す内容は思い浮かんだが、英語の表現が思い浮かばなかったなどの可能性が考えられる。

○IRT バンド別類型割合グラフ



○IRT バンド別類型割合グラフから分かること

・ポイント１について

IRT バンド１に属する生徒の４割以上、IRT バンド２に属する生徒の３割以上が無解答である。①かおりの話している内容を理解することができず、何を答えたらよいか理解することができなかった。②かおりの話している内容は理解することができたが、話す内容が思い浮かばなかった。③話す内容は思い浮かんだが、英語の表現が思い浮かばなかったなどの可能性が考えられるため、生徒の学習状況に応じた指導を行うことが求められる。

また、IRT バンド１、２それぞれに属する生徒の３割以上が誤答である解答類型７に分類されており、学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す際に、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して話すことに課題があると考えられる。指導に当たっては、話し手が最も伝えたいことを確認した上で、賛成か反対かなどの立場を明確にさせ、それを「自分の考え」として話すことから指導をしていくことが考えられる。 【p.143「学習指導に当たって」(１)(２)】

・ポイント２について

IRT バンド３、４それぞれに属する生徒の約３割が、誤答である解答類型３に分類されており、学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、自分の考えを話すことができているが、その理由を話すことに課題があると考えられる。解答類型３に分類されている生徒は、何かしらの英語を話してはいるが、内容に矛盾があったり、コミュニケーションに支障をきたす誤りがあったりする。指導に当たっては、表現の仕方が分からなかったり、表現に誤りがあったりする場合には、どのような表現がよりよいか言語面から学級全体で共有したり、言語材料について理解し、練習するための指導を行ったりすることが大切である。

【p.143「学習指導に当たって」(３)】

・ポイント３について

IRT バンド５に属する生徒の約９割は、正答である解答類型１、２に分類されており、相当数の生徒が、学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができていると考えられる。

３．学習指導に当たって

（１）話し手の意見を聞き、要点を捉えさせる

聞いたことを基に自分の考えとその理由を話すことができるようにするためには、話を聞いて要点を捉えることが重要である。話を聞いて要点を捉えるためには、①文章の構成や要点を捉えるための手がかりとなる語句や表現に着目して聞く、②話し手が最も伝えたいことだと判断した根拠を話し合う、などが考えられる。（詳細は英語５の「学習指導に当たって」を参照）

さらに、話を聞く際には、キーワードを書いたり、自分の考えを書き込んだりするなど、必要に応じてメモを取りながら聞くことも考えられる。またメモを学級全体で共有し、複数のメモを比較するなどして、メモを取る際には、どのような点に留意すべきかを取り上げるなどの工夫も考えられる。英語19において、自分の考えを明確にもたせるためには、かおりが最も伝えたいことは “I think we should sleep for 15 minutes after lunch.” であることを捉える必要がある。

（２）話す内容が思い浮かぶように、自分の考えと理由を整理させる

話し手が最も伝えたいこととその理由を確認した上で、生徒が自分の考えをもてるようにすることが大切である。聞き取った内容についてのメモに、賛否などの自分の考えやその理由を書き足したり、それらを線で結んだりするなどして自分の考えを整理できるように指導することが大切である。話の内容と関連させて生徒のことを尋ねたり、話し手の意見に対する生徒の考えを尋ねたりすることで、生徒に自分の考えとその理由を明確にさせることが大切である。

（３）発表を振り返る視点を共有し、自分の考えを再構築する

考えを整理したメモを基にペアで発表し合った後、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じた内容になっているかという内容面から振り返り、学級全体で共有することが考えられる。例えば、英語19では、学校で昼休みに寝ることに賛成する理由として、「昼寝することによって午後の学習に集中できる」といった学習に関わる内容、「午後は自分もいつも眠くなる」といった自分の経験などを理由として挙げ、賛成する理由を様々な視点から気付かせることが考えられる。

表現の仕方が分からなかったり、表現に誤りがあったりする場合には、どのような表現がよりよいか言語面から学級全体で共有したり、言語材料について理解し、練習するための指導を行ったりすることも大切である。例えば、英語19では、“It’s a good idea. Afternoon study hard” といった表現を取り上げ、主語を明確にしたり、午後は何が大変なのかを明確にしたりして、“I’m sleepy in the afternoon, so studying in the afternoon is hard.” などの表現を共有することが考えられる。

その後、内容面と言語面から共有した振り返りの視点を参考にして、自分の考えとその理由を再構築し、再度ペアで発表し合う機会を設けることが大切である。

（４）言語活動の例

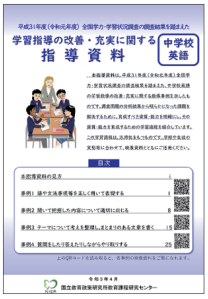
- 聞いて得た知識や情報のメモを基に、内容を口頭で要約して伝えたり、自分が一番印象に残った内容や興味をもった情報を伝えたりする活動
- 聞いたことについてなぜそのように考えたのか、感じたのか、簡単な理由や根拠、例示などを伝えたり質問したりする活動

〇関連する指導資料　※画像をクリックするとリンク先にアクセスできます。

・中学校英語指導事例集（令和３年４月）
「聞いて把握した内容について適切に応じる」

映像資料

指導資料



・中学校英語指導事例集（令和７年３月）
「聞いたことを基に自分の考えや理由を話す」

映像資料

指導資料